

# 議会運営委員会 委員会の報告

## 第5回「井戸ばた会議」 町民と議会との対話

第5回井戸ばた会議を5月29日バスターミナル合同センターで開催しました。

森林バイオマス熱電併給事業をテーマに、5グループに分け、途中席替えを行い意見交換をしました。

第2回町議会定例会に提案予定の熱電併給事業に関心が高く、39人と大勢の方に参加をいただき様々な話を伺い、最後に皆さんにアンケート用紙にご意見をいただきました。

## 熱電併給事業に関して の主な意見

た。

・ やめるデメリットは凄く多いと思う。

・ 地域内循環と言うが、買い物一つにしても名寄などに買いに行く。ここばかり地域内循環というのはおかしい。

・ 代替案をこれから提示できるのか。

・ 行政は補助金ありきの事業で決まっているのではないか。この時点で意見交換しても意見が反映されるのか。議会の判断に委ねられているが大丈夫か。

・ A案、B案、C案と多様な選択肢を提供して検討していく方法もあるのではないか。

・ 対話の不足はひも付きの予算や相手があつてのスケジュールなどの制約の中で進めなければならぬ。

ばならない。行政として仕方ない部分がある。

・ 今の熱供給は未利用材を使っており、せっかく町内で生産しうまくいっているのに、なぜ熱を買わなければならない。

・ 声なき声がある。判断をどこですればいいのか分からない。身近な生活に密着しない。

・ バイオマスの熱は、公共施設を先に進めるのではなく、町民優先でやるべきではないか。

・ 農業、林業活性化であればこの場所ではない。

・ 5千立方の原材料は町内で集まらない。もしやろうとすれば今までの循環型が崩れる。

・ ペレットは採算が合うのか。今のバイオマス施設をいかにすべきだ。



## 第6回「井戸ばた会議」 町民と議会との対話

第6回井戸ばた会議を6月28日バスターミナル合同センターで開催しました。

第2回町議会定例会が終了し、第5回と同様、森林バイオマス熱電併給事業をテーマに特別委員会からの調査報告、常任委員会からの審査報告の後、カードに意見を記入